

# 「平和のとりでを築く」(光村図書 6 年下)

TOS S フラミンゴウズ所属 青木英明

メール [hide-bluetree3@s2.dion.ne.jp](mailto:hide-bluetree3@s2.dion.ne.jp)

## 1. 単元計画

### 第1次 範読・読み(2時間)

毎時間、授業開始の5分間は、漢字スキルを行う。

#### 教師による範読

指示 「平和のとりでを築く」先生が読みます。目で追いなさい。

#### 追い読み

指示 先生のあとについて読みます。

#### 一文交代読み

指示 一文交代読みをします。先生が先、みんなが後。

全体・班などで飽きさせずに行う。

#### 指名なし音読

指示 指名なし音読をします。読みたいところがきたら、立って読みなさい。

#### 段落番号ふり・意味調べ

### 第2次 要約・読み取り(2時間)

向山洋一氏は「国語の授業が楽しくなる」で以下のように述べている。

『私は説明文の指導では「十分に読ませること」「トピック・センテンスをさがさせること」「要約をさせること」にポイントをおく。(P83)』

この教材は、段落の最初に一番重要な内容が書かれている段落が多い。よってトピック・センテンス指導がしやすい。トピック・センテンスを探す指導を行う。

#### トピック・センテンス

指示 第1段落。一番重要な一文を選びなさい。

指名して確認。

説明 一番重要なのは、最初の文ですね。

このように段落のなかで一番大切な内容が含まれた文をトピック・センテンスといいます。

以下、段落ごと確認する。

この教材は、第一文目に重要文があること、最終段落のまとめだけは、最後の文章であることをおさえる。

各段落のトピック・センテンスは以下の通りになる。

(今回は第一文目をトピック・センテンスと考えた。)

1. 広島市には、一発の原子爆弾で破かいされ、そのままの形で今日まで保存されてきた「原爆ドーム」とよばれる建物がある。
2. 「原爆ドーム」は、広島市のほぼ中心を流れる川のほとりに建っている。
3. この建物は、広島を取り巻く時代の流れをじっと見守ってきた。
4. 一九四五年（昭和二十年）八月六日午前八時十五分、よく晴れた夏空が広がる朝、広島市に原子爆弾が投下された。
5. 爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎上し、中にいた人々は全員なくなったという。
6. 原爆ドームを保存するか、それとも取りこわしてしまうか、戦後間もないころの広島では議論が続いた。
7. 市民の意見が原爆ドーム保存へと固まったのは、一九六〇年（昭和三十五年）の春、急性白血病でなくなった一少女の日記がきっかけであった。
8. 保存といっても傷ついた建物だけに簡単ではない。
9. 日本が一九九二年（平成四年）にユネスコの世界遺産条約に加盟した直後から、広島では、原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。
10. 世界遺産は、人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産と、地球上にある貴重な自然遺産を、未来へ向けて大切に守っていくために、ユネスコと世界の国々が調査し、指定していく制度である。
11. 原爆ドームが世界遺産の候補として、世界の国々の審査を受けることになったとき、わたしは、ちょっぴり不安を覚えた。
12. 痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな惨害をもたらすかわたしたちに無言で告げている。
13. 原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

トピック・センテンスをよむだけで、教材文の内容を大まかに読み取ることができる。

トピック・センテンス指導の後、さらに一字読解指導を行い、細かい部分でおさえておきたい箇所を理解させる。（略 先行実践参照）

### 文章に書かれていない内容の読み取り（本時）

この文章の6段落目に、原爆ドームを保存するか、取りこわすか、という議論があったということが書かれている。反対派の意見は、6段落に書かれているが、保存派の意見が書かれていない（永久保存するきっかけになったエピソードは書かれている）。保存派の意見によって、ドームが残され、世界遺産登録されたことを考えると、保存された意見を把握しておかなければならない。保存派の意見を把握することによって、筆者の考え方を解釈し、最後に書く意見文がより豊かなものになると考えたからである。授業の詳細は、「本時の展開」に詳しい。

## 第3次 意見文（1時間）

### 意見文

前時までに学習してきたことをもとに意見文を書く。書かせるときは、

1. 筆者がこの話で伝えたかったこと（主題）は何か
2. それに対して、自分はどのように考えるか

を入れて書かせる。

1は、トピック・センテンスで挙げた文章から重要だと思われるキーセンテンスを取り上げて、さらに保存派の意見を踏まえると、より主題に迫れる内容が書けるであろう。書かせ方も400字以内や見開き2ページといったように、児童の実態に応じて、フォーマットを与え、限定して書かせる。

## 2. 本時の展開

ねらい

キーワードを探し、保存派の意見を再構成（内容補完）する。

展開

指示 1回読んだら座ります。全員起立。

セミナーでは、時間の関係上、6段落のみを音読させる。

指示 6段落を見なさい。

原爆ドームを取りこわしてしまうという保存反対派の意見があります。

その意見に線を引きなさい。

指名して、読んでもらう。

発問 簡単に要約すると「原爆ドームは、原爆のことを思い出すので取りこわしてほしい。」という意見です。

しかし、原爆ドーム保存派の意見が書かれていません。

保存派はどういう意見だと思いますか。

数名を指名。

スマートボードで保存反対派と保存派の意見を対比させて出して、ヒントにさせる。

そこから「原爆ドームを残してほしい」「保存してほしい」という意見を出させる。

指示 保存派の意見につながるキーワードや言葉・文を全文から見つけ、で囲みなさい。

で囲めたら板書。セミナーでは時間の関係上、指名のみもありうる。

ちなみに、保存派の意見になるキーワードなどは以下のものが挙げられる。

今日まで保存 平和を築く 戦争をいましめる 広島を取り巻く時代を見守ってきた  
市民に親しまれた 後世にうったえかける 平和を求める気持ち 原子爆弾の  
惨害を無言で告げる 警告する記念碑 平和のとりで など

指示 みんなの挙げたキーワードを使って、保存派の意見を書きます。

「原爆ドームは～（なので）残してほしい。」という形で書きなさい。

フォーマットを与えて書かせる。3名ほど指名、発表。

前に指示したキーワード探しで、たくさんキーワードが挙がらなかった場合は、こちらでキーワードを提示して、参考にさせる。

指示 次回は、今まで勉強したことをいかして、筆者が言いたかったことは何か、自分なりの意見文にまとめていきます。